

香川県広域水道企業団 水道事業 地区別意見交換会 議事録

中讃ブロック統括センター

開催日時	令和 6 年 12 月 18 日（水） 13：30～14：40
開催場所	善通寺市役所 4 階 401・402・403 会議室
出席者	委員 9 名 企業団職員 12 名
傍聴者	申し込み 2 名、受け入れなし
内 容	1 開会 2 議題 （1） 香川県広域水道企業団の概要について （2） 令和 5 年度決算の概要および浄水場別配水状況について （3） 水道料金の統一について （4） その他 3 閉会

要 旨

委 員 企業団 委 員 企業団	1 開会 所長が挨拶を行う。
	2 議題 （1） 香川県広域水道企業団の概要について 企業団より説明を行う。 「危機管理指針は、今から作成していくのか。」 「危機管理指針は既に作成しており、具体的な協議を進めている。」 「水道管の耐震化に向けた今後の方針は。」 「企業団において、今後の方針を協議・検討中である。2 月の企業団定例議会で方針が示されると聞いている。」
	（2） 令和 5 年度決算の概要および浄水場別配水状況について 企業団より説明を行う。 「令和 5 年度損益の赤字事業体があるが、その理由は。」 「使用水量の低下による料金収入の減少や、耐震化工事等での事業費の増加が赤字の要因である。」
	「事業体ごとに損益に差がある状態での統一は、不公平感があるのではないか。」 「令和 9 年度末までに、財政状況や施設の整備状況等を一定程度の基準にすることで、不公平感を解消し、令和 10 年度の区分経理終了を迎えるよう努めている。」
	（3） 水道料金の統一化について 企業団より説明を行う。 「水道料金は高松の料金に統一するのか。各ブロック統括センターで決めれば良いのでは。」

企業団	「料金を統一することは決定しており、高松市の料金体系を軸に進めている。基本・従量料金の単価設定は、水道施設整備にかかる費用等を料金収入で賄える持続可能な水道事業となるよう検討しているところである。」
委 員	「水道料金の滞納者への対応状況は。」
企業団	「滞納時は、停水措置を取っている。民間業者に収納業務を委託しているが、今後とも高い水準の収納率を保てるよう努めていく。」
委 員	(4) その他 「地震の際、導水管が破損し、水が住民に届かなくなった場合の対応や耐震性貯水槽の整備に対する考えは。市町と密接な関係のもと、課題の解決に向け十分協議をお願いしたい。」
企業団	「耐震性貯水槽は、市町が整備している。企業団としては災害の状況に応じて、市町からの要請に基づき、避難所等の給水拠点へ給水車を派遣し、迅速に水を届けられるよう対応に努める。」
委 員	「災害時、家庭の井戸水を利用できないか。その場合の水質管理や浄水器設置等の対応は。」
企業団	「緊急時の井戸水の使用のあり方は、検討課題の一つである。今後の検討に向け、企業団内でも意見を共有したい。」
委 員	「災害時、今の職員数で対応できるのか。」
企業団	「大規模災害時、現状の職員数のみで対応することは非常に厳しい。必要に応じ適宜、全国の水道事業者支援に支援・応援を求め、対応に当たっていく。」
委 員	「工事の入札・契約の状況は。」
企業団	「適宜、制度の改善等を行いつつ、適正に事務執行できている。」
3 閉会	